富士見櫓

中雀門を入って左手の本丸南端に位置する三重の櫓です。櫓の高さは約16メートルあります。どこからみても同じような形に見えることから「八方正面の櫓」とも呼ばれています。

1657（明暦３）年の大火で天守閣が焼失したあとは、その代わりとされたと伝えられる重要な建物です。本来は見張り台として使われていましたが、上弦の月や下弦の月などもきれいに見えたと思われます。